

# 今、学校教育は～不易と流行～



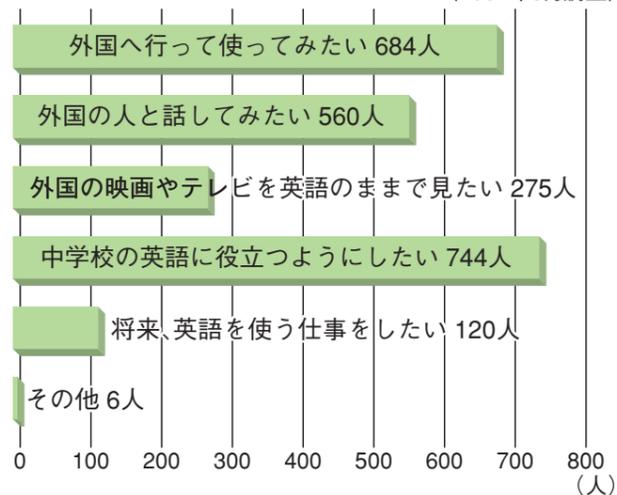
教育には「不易と流行」があります。  
「不易」とは時代が変わっても、変わらないもののことです。例えば、美しいものを見て感動する心、人を思いやる心、物を大切に作る心などは不易と言えるでしょう。一方、時代とともに変わっていかなくてはならない教育があります。国際理解教育や環境教育、パソコン教育など、その時代だからこそ必要とされる教育を流行の教育と言います。この不易と流行が一体となって子どもを育てていきます。

問い合わせ 播磨町教育委員会 学校教育グループ ☎079(435)0545



播磨町の小学生(3年生以上)1,227人に聞きました「英語を使って何をやりたい?」(複数回答可)

(2007年3月調査)



▲遊びを通して、英語を楽しむ園児たち



▲パソコンを使って学習する小学生たち

## 情報教育

自宅のパソコンを使って学習できる教育サイトの利用が始まっています

インターネットや携帯電話の利用が当たり前のようにならなくなってきました。パソコンも使い方を教える教育から、学習の道具として利用する教育へと変わってきました。播磨町の小・中学校の在学なら、家庭からでも教育サイトへアクセスして学習できるシステムが無料で利用できます。(各学校のホームページからアクセスしてください)

一方、携帯電話やインターネットは使い方を間違えると人を傷つけたり自分が傷ついたりすることがあります。携帯電話やパソコンは、使う人のモラルとセツトだということ子どもたちにも自覚させましょう。

## 安全教育

小学校4年生と中学校1年生を対象にしてCAP教育を行っています

最近、子どもに対する虐待が大きな問題になっています。兵庫県の子虐待相談受付件数は平成17年度で2千570件です。身体的虐待が最も多く、次いでネグレクト(養育の放棄・怠慢)、心理的虐待、性的虐待と続きます。また不審者による子どもを対象にした犯罪も後を絶ちません。

播磨町でこのようなことが起こらないように地域のみならず注意していくとともに、子ども自身にもそのような犯罪から身を守る力をつけさせていかなければなりません。そこで、小学校4年生と中学校1年生を対象にしてCAP(キャップ)教育を行っています。CAPとは子どもが自分への暴力から身を守る力を身につけるとともに、周りの人も子どもを理解していこうとする教育です。殴られること、蹴られること、なじられること、無視されること、脅されること、また性的な苦痛など子どもが恐れを感じるあらゆる暴力を取り上げています。子どもたちの年齢や生活に即した内容で、理解しやすい工夫がされています。

この学習が子どもたちの実際の生活に活かされるためには、周囲にいる大人たちに子どもたちと同じ認識を持って、子どもたちのSOSを受けとめていただく必要があります。そのため播磨町では、保護者の皆さんにも参加をお願いしています。



## 英語活動

幼稚園年長組から始まる英語活動

播磨町では、4人の外国人講師が幼稚園の年長組からの英語活動で指導にあたっています。そして、小学校3年生からは、カリキュラムがあります。カリキュラムといっても、歌やゲームが中心で、楽しい英語活動を通して自然と言葉に親しみ文化の違いを受け入れるようになることがねらいです。

## 読書活動

昨年発表された年間の平均読書冊数は小学生で116.4冊です

子どもの読書量が減ってきたことが問題となっていますが、播磨町では学校図書充実させ、司書の先生を配置し、子どもの読書量アップに努めています。家庭でも子どもの読み聞かせや本に親しむ習慣を身につけさせましょう。

また家庭で不用となった図書がありましたら学校・園への寄贈をお願いします。



▲私たち学校司書がお手伝いします

修学旅行 I-N東京

てるてる坊主に願いを託し、2泊3日の修学旅行は始まりました。

1日目は東京都内班別行動。単に楽しいだけでなく、その中で、仲間と協力することや集団で行動する上での大切なことを身をもって学ぶこともできました。



播磨中学校

2日目は待ちに待ったディズニールランド。少々雨に降られましたが、心の中は快晴そのもの！仲間との語りも楽しい思い出になったことでしょうか。

子どもたちが書いた修学旅行新聞にはそんな思いがぎゅぎゅと詰まっています。



雷門にも行きました

豪華絢爛！

播磨南高等学校



6月15日(金)、16日(土)にわたって播磨最大のイベント、潮風祭が行われました!! 3年生は最後の文化祭でもあり、1年生は初めての文化祭です。私たち生徒会にとっても1番大きな行事でもあったので、ちゃんと運営できるかとても不安でした。1日目は主に3年生のステージでミュージカルもあればソーラン節もあり、ど

れも素晴らしい演技でした。3年生の先輩方を中心に、とても盛り上がった1日目となりました。2日目は展示や模擬店、バンドなどがありました。家族や地域の方々にもたくさん参加していただいていたのもうれしかったです。非常に充実した文化祭となりました。

模擬店も大さわぎです

播磨南高等学校のきゃんぱすだよりは、生徒会が執筆しています。

パワー全開! in 淡路!!

播磨小学校

親元を離れ、友と過ごした5泊6日の自然学校「6月1日(金)〜5日(火) 5年生」

浜辺の散策で、波しぶきを浴びながら見つけた貝殻や小石。思い思いにペイントして、思い出のお宝に変身!

広い砂浜では、次々にお城や亀などが出現。「住んでみたいで賞」「でっかいで賞」に思わずヤッターの歓声。

天候にも恵まれ、カッターで沖にも出ました。オールの高さに負けそうになりながらも、声を合わせ、力を合わせ、「イチッチニー!!」「サーンシッ!!」

渦潮、人形浄瑠璃、牧場での乳搾り...どれも忘れられない淡路島での思い出です。



皆で頑張るぞー!▶

炭火で焼いたアナゴは最高!

蓮池小学校



社会科の町内巡りの授業で古宮漁港を見学しました。生けずで泳ぐ魚を間近に見たり、触ったりするのは、水族館以上の興奮でした。さらに、そこで古宮漁協の方にアナゴの開きを実演していただき、手際の良さで見事に取り

出された骨に子どもたちは興味津々でした。「せっかくなら、炭火焼きしたら最高やで!」という漁師の方に道具を借りて、ふっくらカリカリの炭火焼きを楽しむことができました。もちろん、骨せんべいもシャリシャリ...とい

おいしいそうないが漂います

# きゅんぱすだより

## 水族館に変身!!

今日の蓮池幼稚園は、テラスにタライがたくさん並びアナゴ、ハゼ、ヒシガニ、ヒトデ、などが泳いでいます。壁にはヒラメやタツノオトシゴの写真。わくわくルームからは、色々な容器に貝殻を入れたステキな音が聞こえてきます。『出前水族館』に子どもたちは大喜びです。

一番人気はアナゴ。「ヌルヌルしとっ!」「つかめたあー!」「逃げられたあー!」と、大騒ぎです。幼稚園に居ながらにして色々な海の生き物に触れることが出来た一日でした。



蓮池幼稚園

▲お土産のヒトデに、にっこり!



▲アナゴに人気集中!



▲きれいな貝殻や石にも興味津々

## 星の子館に泊まったよ

6月15日(金)、5歳児は姫路科学館と星の子館に宿泊保育に行きました。子どもたちは「何があるかかな」「たくさん星が見れたらいいな」と期待いっぱい様子で出発しました。



月様が見えるのかと思った」と好奇心旺盛の子どもたちでした。

播磨中央保育園

▲星のことならまかせて!!

星の子館では、星についてのクイズに挑戦したり、大きな天体望遠鏡をのぞいたりしました。姫路科学館で見たプラネタリウムからの出題に「覚えてるよ。1番星は金星っていうんだよ」「星座は全部で88個あるんだよね」とスラスラと答える子どもたち。とても真剣に話を聞いている子どもたちに驚かされました。また、望遠鏡で月の表面のてごぼこしているクレーターを見て「あれ? 光ってないの? どうしてなんだらう」「丸いお



# あなたにバトンタッチ!

リレーエッセー⑩

## 息子たちに思うこと



角野 留里さん (南大中)

**本業** 本荘港でつり舟屋をやっています。いつのまにか、わらじが増え続け、今いったい何足のわらじを履いているのでしょうか? 忙しいうちが花かな~と思っています

私が産んだ3人の息子たちは、「リトルリーガー」です。リトルリーグとは、小学生の硬式野球のこと。「硬式」というからにはさぞかしお上手で...なんて言われることも多いのですが、精一杯の親の欲目で見てみても、息子たちは、各自の同級生の最下位を死守している様子。母の私がどんなに念力をかけても、バットにボールは当たってはくれな

い。どんなにテレパシーを送っても、ボールはグローブを避けていく。「まあ、プロ野球選手になろうと思ってるわけじゃないしね」な~んて、家族で慰めあってみても、さすがにこのままではチームメ

イトに迷惑だということにようやく気づき、主人が息子たちを練習に連れ出し始めました。しかし、何分も経たないうちに、頭から湯気が見えるんじゃないかと思われるほど怒った父とその後ろで半べそをかいた息子たちが帰って来てしまいます。聞けば、息子の態度がやる気の無い格好だとか、口を開けば能書きばかりたれるとか。

しかし、私はこんな息子たちについていつも感謝しているのです。ボールボーイをしていて、一所懸命ファールボールを走って追いかける姿。自分が出ていない試合でも、声が枯れるほど応援している姿。帰っ

てきて疲れていても、靴下やスポンを手洗いしている姿。「どんな時も、一所懸命な姿を見せてくれてありがとう」と。それと一緒に伝えたいことがあるということ。とても素晴らしいことだということ。

**本業** 私は、アウトドアスポーツなんて、するのも付き添うのも苦手でした。でも今は、家族みんなで喜びや感動を共有出来ることを嬉しく思っています。目標は卒団までやり遂げることに。その中で、これから生きていくうえで糧になるものをたくさん体得して欲しい。

そんなことを思いながら、今日もグラウンドに足を運ぶ私のかわいい息子たちは...います。



## 謡曲教室

代表者 田村 定子さん



活動を始められたきっかけは? 昭和55年に有志を募り、神戸製鋼のクラブ活動の先生にお願いしたのが最初で、6人で結成しました。その後、万葉集、源氏物語などの古典が好きな人や、五線譜では表すことのできない声の高さに魅力を感じた人たちが少しずつ集まって、現在は男性4人、女性6人の10人で活動しています。

**グループのメンバー構成は?** 男性は会社でクラブ活動をしていた人がほとんどで定年退職後に入会しました。40~50年の年数を積み上げた人から10年くらいの人まで、様々ですが、皆、仲良く楽しく活動しています。

**活動の内容は?** 1月には初謡会、7月には歌仙会、そして、11月には加古川市播磨町登録団体の発表会がありますので日々、練習

に励んでいます。

**グループのモットーは?** 大きな声を出す 発声(腹式呼吸)で、健康で長生きをモットーにしています。また、人の輪と、心の和も大切にしています。

**ユニークなエピソード** 最初は扇子の扱い方や立ち居振る舞いなど何もわからなまま舞台上が上がっていました。が、少しずつ作法も先生に教えていただきました。今では男女関係なく、着物の着方からたたみ方まで出来るようになりました。長い時間がかかりましたが。

毎月第1・2・3火曜日の午後から、中央公民館で練習しています。ぜひ一度、見に来てください。